

インフラメンテナンス技術者セミナー(第1回) 開催報告(平成29年12月19日)

特別講演:「インフラ点検技術での海外展開事例」 パネルディスカッション+会場トークセッション 「フロンティア領域にチャレンジするインフラ技術者の活躍に向けて」

主催:インフラメンテナンス国民会議 技術者育成フォーラム、
海外市場展開フォーラム
共催:NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
協力:公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会
日本経済大学 価値創造型企業支援研究所

- インフラメンテナンス国民会議では、インフラメンテナンスに生産性革命を起こし、確実かつ効率的なインフラメンテナンスを実現する生産性革命プロジェクト「インフラメンテナンス革命」に積極的にチャレンジする人材を応援するため、技術革新や海外市場展開、地域連携などのフロンティア領域で取り組んでこられた方々をお招きする技術者セミナーを継続的に開催していく。第一弾として、NEXCO-West USA, Inc 取締役社長松本正人氏による特別講演「インフラ点検技術での海外展開」、「フロンティア領域にチャレンジするインフラ技術者の活躍に向けて」をテーマとしてパネルディスカッション及び会場とのトークセッションの2部構成で開催した。
- 全国から企業、行政、学会、大学、学生と約100名が参加した。パネルディスカッションでは、4人のパネリストによりそれぞれの立場から「インフラメンテナンスの技術の伝承と海外事業の展開と人材育成にフォーカスして議論頂き、会場から海外にチャレンジしているNEXCO-USA道場企業インターン生、学生、東南アジアで現地技術者を養成している企業経営者からと積極的な意見が交わされた。
- 今回のインフラメンテナンス技術者セミナーをキックオフとし、技術者育成フォーラムと海外フォーラムと連携して各分野の事例を紹介しながら、魅力あるインフラメンテナンス市場の確立に向けて、前線の技術者がより多く参加できる継続セミナーとして進めて行くことを提言した。

◇プログラム

- 挨拶 国土交通省 総合政策局 官房技術参事官 奥谷 正 氏
- 第1部 特別講演:『インフラ点検技術での海外展開事例』
NEXCO-West USA, Inc 取締役社長 松本 正人 氏
- 第2部 パネルディスカッションと会場トークセッション
パネリスト:NEXCO-West USA, Inc 取締役社長 松本 正人 氏
山口大学 名誉教授 宮本 文穂 氏
総合政策局 国際建設管理官 天野 雄介 氏
パシフィックコンサルタンツ(株) (株)パデコ出向) 松月 さやか氏
コーディネーター:技術者育成フォーラムリーダー 鈴木 泉 氏
- 閉会挨拶 NPO法人 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
副理事長 中村 裕司 氏

主催挨拶



特別講演会場



講演者



◇第1部 特別講演『インフラ点検技術での海外事例』

- 2011年1月より米国ワシントンDCに拠点を置き、北米及び南米のインフラに対してNEXCO西日本グループの道路非破壊検査技術を適用すべく事業を展開している。また、同様にインフラ技術で海外進出を考えている日本企業の支援や、海外の優れたインフラ技術の日本への導入に関する支援を通じ、インフラ技術のグローバル化への対応を促進している
- 2017年までの活動経過について紹介。当初3年は米国での実績作りのためパイロット事業との位置づけで無償で経験を積む。大学や官公庁を巻き込み共同研究しながら論文等を発表し市場の信頼を獲得する。
- 海外でも活躍できる人材育成にも取り組み、NEXCO-USA道場を開設し、企業、自治体、学生インターシップ受け入れも行っている。

インフラメンテナンス技術者セミナー(第1回) 開催報告

◇第2部 パネルディスカッション

■テーマ: 「フロンティア領域にチャレンジするインフラ技術者の活躍に向けて」

○セッション1: 松本氏の特別講演を軸に話題提供と活動紹介

宮本氏 「松本社長の想い出」インフラ維持管理に重要性を既に大学時代から教え、意思を受け継いで米国で活躍に至る。

天野氏 インフラメンテナンスの海外展開について。インフラメンテナンス国民会議の枠組の活用により推進する。

松月氏 海外で人材育成に携わる。もともと住民参加、まちづくりに興味あり、国内外のPFI/PPP事業関連業務に従事し、現在JAICAの技術プロジェクト(ルワンダの教育プロジェクト)に従事。

○セッション2: 「人を育てて、技術を繋げて行くとは」「なぜ海外でうまく行ったか」「海外フォーラムを進めるに当たっての期待感」「今後の目標」

宮本氏 海外の大学で学ぶチャンスを生かすべき。異分野の連携を受け入れることも肝要。

松本氏 技術力に加えて、市場に合わせたカスタマイズが必要。交渉力、人間性、語学力など備えた人材が求められる。海外展開を成功するための教科書はない。

天野氏 海外の法制度にも適用する本質的な技術を磨くべき。パッケージングする技術力が求められる。国内外を分けすぎないキャリアステップ形成が望ましい。日本・相手国の両者が相互理解を深める教育が必要。

松月氏 若手も活躍できる枠組みづくりを。日本人の性格(勤勉性など)は海外でも評価されている。積極的に進出することで海外展開の素地づくりが必要。

○セッション3: 会場とのトークセッション「NEXCO-USA道場体験談、期待」「海外にチャレンジしている企業」

インターン生1. 技術者がビジネスを学ぶ活路を見出して行く事、組織・分野にとらわれず、自分の仕事を最後までやり通すことができるような横断的なプレイヤーにあること。

インターン生2. 海外へ、踏み出す第一歩が重要、難しいことであるがどうしたら良いか、チャレンジできる環境を期待したい。

企業(海外進出) 日本の中小企業だが、ベトナムで大学と現地で土木技術発展の協力、技術移転、人材育成の協力支援を行っている。また、日本のインフラ技術を教え、日本で活躍できる人材育成に取組み、生徒を九州の大学でのインフラメンテナンスの活動に参加させている。

○まとめ: コーディネーター(技術者育成フォーラムリーダー鈴木氏) 本日の機会をキックオフとして、今後は海外国内とインフラ各分野の専門家がコラボレーションし、多くの前線の担い手が参加できるようなセミナーを継続開催し、魅力あるインフラメンテナンス市場の確立に向けて国民会議も進めて行くことが重要。

◇アンケート(感想・要望)一部紹介

■感想: 国交省の話題提供の話がわかりやすかった。天野氏が挙げられた3つの問題意識はまったくその通りと思いました。

インフラ点検の海外展開という松本氏の話は、若い技術者に伝える上でとても有意義で希望を持つのに適していたと思う。

特に私は文系出身のため、様々な分野を専攻して来た方々がチーム活動しているのだという印象が残った。松本氏の体験談が良かった。

若い世代の参加が多かったのが良かった。

■要望: 海外のインフラ点検事情(どんな国がどんなことをしているか。何が足りないか。) 海外で必要とされているインフラ技術のニーズを幅広く知りたい。

海外だけではなく国内の問題に目を向けたセミナーに参加したい。(学校への告知など学生が参加する窓口を広げてほしい。)

パネルディスカッションは、より多くの企業から意見を聞きたい。

コーディネーター



パネリスト



女性技術者の海外体験談



会場よりトークセッション



共催 閉会の挨拶

